

# 東北電カグループ中長期ビジョン

Tohoku Electric Power Group Management Vision

よりそう *next*

東北発のスマート社会実現を目指して



## スマート社会の実現に向けて、ビジネスモデルを転換し、持続可能な成長を目指します

---

私たち東北電力グループは、1951年の創立以来、「東北の繁栄なくして当社の発展なし」の基本的考え方のもと、安全を大前提に、低廉で環境に配慮した電力を安定的にお届けすることを通じて、東北6県・新潟県の発展に努めてまいりました。

一方、2016年4月の電力の小売全面自由化による競争激化、2020年4月の送配電部門の分社化に加えて、再生可能エネルギーの導入拡大やデジタル化に伴う電力需給構造の変化など、東北電力グループを取り巻く事業環境は大きな転換点を迎えています。また、私たちが事業基盤を置く東北6県・新潟県では、他地域と比較して人口減少や少子高齢化が加速しており、今後、交通、教育、福祉等、様々な分野で社会課題が顕在化していくことも想定され、社会構造も大きく変化しようとしています。

変化の激しい時代においては、自らが変革を推し進め、主体的に挑戦していかなければ、今後も、東北電力グループが存在意義を果たし続け、社会とともに持続的成長を実現することはできません。

このような強い危機感のもと、私たち東北電力グループは、**「東北発の新たな時代のスマート社会の実現に貢献し、社会の持続的発展とともに成長する企業グループ」**を2030年代のありたい姿とする**「東北電力グループ中長期ビジョン」**を策定しました。

多様化する社会課題を広く捉え、**従来の電気事業の枠を超えて、スマート社会(Society5.0)の実現に向けた事業に取り組む**とともに、電力需給構造が大きく変化する中でも、**東北6県・新潟県を中心に電力供給を担い続け、社会の持続的発展と自らの成長の両立を目指します**。その実現のために、**電力供給事業の構造改革を進めるとともに、スマート社会の実現に向けた事業へとビジネスモデルの転換に挑戦**します。

「東北電力グループ中長期ビジョン」の実現に向けて、創立以来の思いを新たな時代に適合するかたちで改めて見つめ直し、今こそ第二の創業期であるとの強い認識のもと、東北電力グループだからできる“よりそう”価値を創造し、新たな時代を切り拓いてまいります。ステークホルダーの皆さまには、変わらぬご支援をいただきますと幸いです。

# 目次

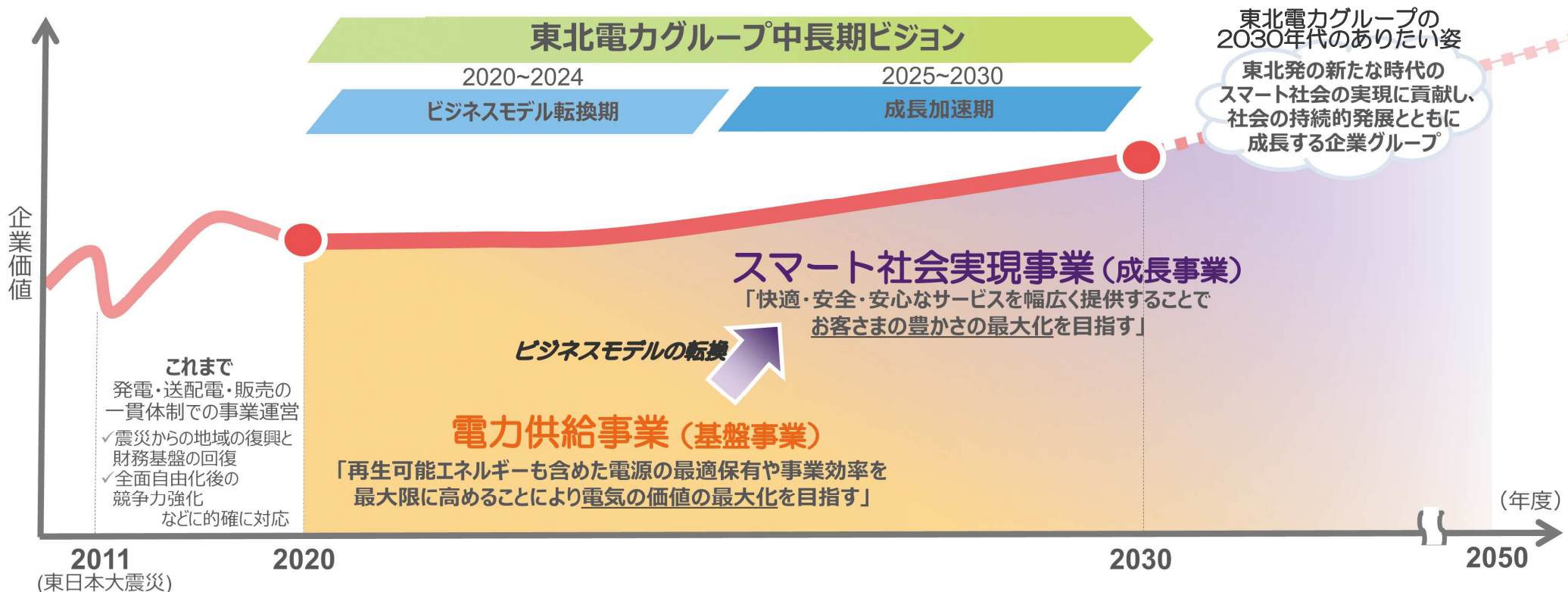
---

1. 「東北電力グループ中長期ビジョン」の全体像 … p3
2. 事業環境変化 ～ 社会や電力需給構造の大きな転換 … p4
3. 東北電力グループの強み … p5
4. 2030年代のありたい姿 … p6
5. ありたい姿の実現に向けた戦略 ～ 「スマート社会実現事業」 … p7
6. ありたい姿の実現に向けた戦略 ～ スマート社会を実現するための「電力供給事業」 … p8
7. ビジネスモデル転換期の取り組み方針 ～ 「2020年度東北電力グループ中期計画」の力点 … p9
  - 力点1 “Change” 電力供給事業の抜本的変革による競争力の徹底強化
  - 力点2 “Challenge” スマート社会実現事業の早期収益化への挑戦
  - 力点3 “Create” 企業価値創造を支える経営基盤の進化
8. 定量的に目指す姿（財務目標） … p18
9. ESG経営の推進 … p19
10. 東北電力グループ経営理念、東北電力グループスローガン … p20
11. 東北電力グループの総合力発揮 … p21

# 1. 「東北電力グループ中長期ビジョン」の全体像

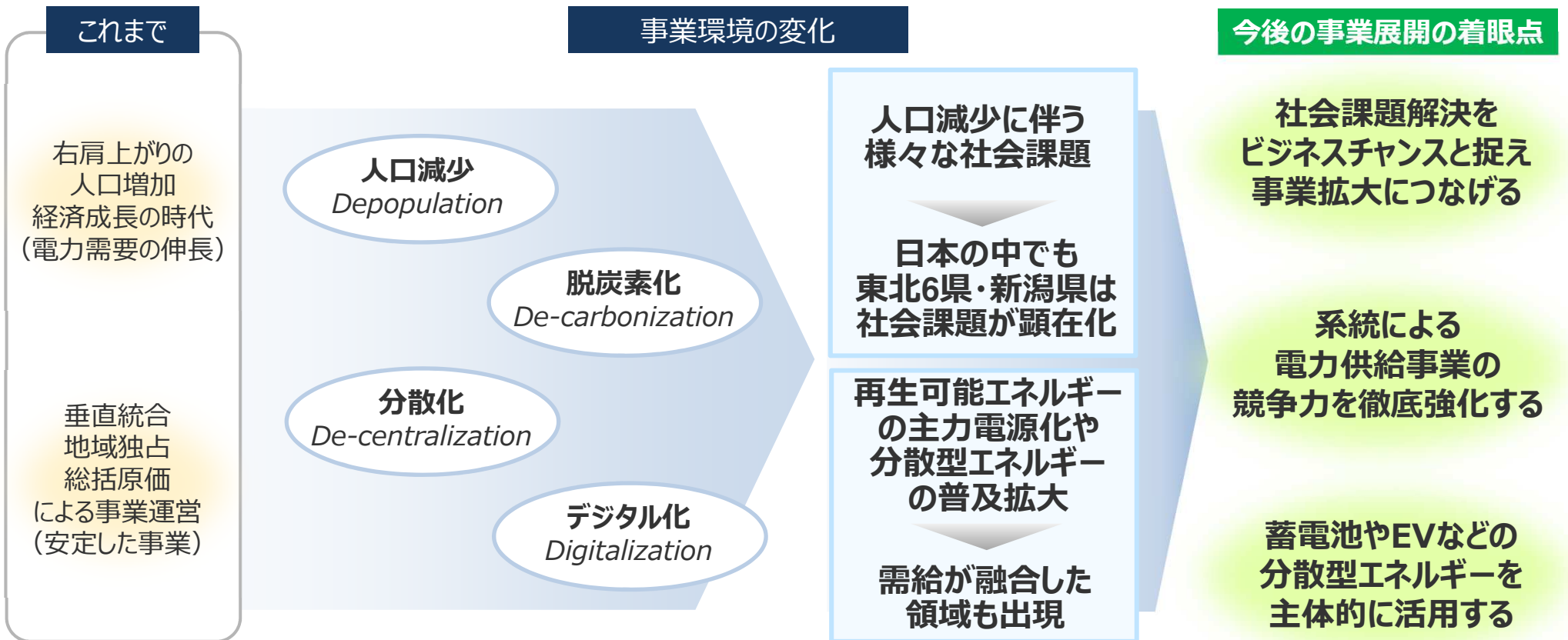
- 当社グループを取り巻く事業環境は、社会や電力需給構造の大きな転換点を迎えており、自らが変革を推し進め、主体的に挑戦していかなければ、今後も、存在意義を果たし続け、社会とともに持続的成長を実現することは困難となる。
- この強い危機感のもと、当社グループは、2030年代に「**東北発の新たな時代のスマート社会の実現に貢献し、社会の持続的発展とともに成長する企業グループ**」の実現を目指し、東北6県・新潟県を中心に電力供給を担い続けるとともに、スマート社会(Society5.0<sup>※</sup>)の実現に向けた事業を通じて、社会の持続的発展と自らの成長を両立していく。
- 基盤事業の「**電力供給事業**」の構造改革を通じた**徹底的な競争力強化**により安定的に収益を確保するとともに、成長事業の「**スマート社会実現事業**」に**挑戦し経営資源を戦略的に投入**していくことで、**自らのビジネスモデルを大きく転換**させていく。特に、**向こう5年間(2020~2024年度)は、「ビジネスモデル転換期」と**位置づけ、**ありたい姿の実現**に向けた取り組みを推進し、2025~2030年度における成長の加速につなげる。

※仮想空間と現実空間の高度な融合により、経済発展と社会課題の解決を両立する人間中心の社会



## 2. 事業環境変化 ～ 社会や電力需給構造の大きな転換

- 当社グループが事業基盤を置く東北6県・新潟県では、**人口減少・少子高齢化の進展に伴い、様々な分野で社会課題が顕在化**することが想定される。さらに、エネルギー業界では、全面自由化による競争激化に加えて、**脱炭素化、分散化、デジタル化の進展等により、電力需給構造が変化**しつつあり、従来のビジネスモデルの延長線上では変化に対応できず、持続的な成長を実現することが困難になることも考えられる。
- このような社会や電力需給構造の大きな転換点において、自らが変革を推し進め、主体的に挑戦し、地域とともに持続的に成長し続けるために、**①社会課題解決をビジネスチャンスと捉えた事業拡大、②系統による電力供給事業の競争力の徹底強化、③分散型エネルギーの主体的な活用**の3点を着眼点に、今後の事業展開を進めていく。



### 3. 東北電力グループの強み

- 当社グループの強みは、①電気事業の技術・ノウハウ等を有していること=電力のプロフェッショナルであることと、②東北6県・新潟県を中心に顧客基盤等の地域社会との面的なつながりを有していること=地域との絆を有していることの大きく2点。
- 今後も、ステークホルダーの皆さまのご期待にお応えし価値提供し続けることで、ご信頼をいただけるように努め、そのご信頼を基盤に、社会や電力需給構造の変化に適応すべく自らの強みを高めていくことで、持続的な成長を目指していく。

#### ① 電力のプロフェッショナル

- ・ 電力の安定供給を支える人材や使命感
- ・ 発電オペレーション技術や世界最高水準の高効率火力発電技術
- ・ 電力の系統運用・制御技術
- ・ 東日本大震災を乗り越えた災害復旧の経験
- ・ 東北6県・新潟県の再エネ開発ポテンシャル

#### ② 地域との絆

- ・ 東北6県・新潟県を中心に顧客基盤や事業拠点、電力インフラ等を保有
- ・ 東北6県・新潟県の自治体や地域経済団体等とのつながり
- ・ 東北6県・新潟県における地域貢献活動

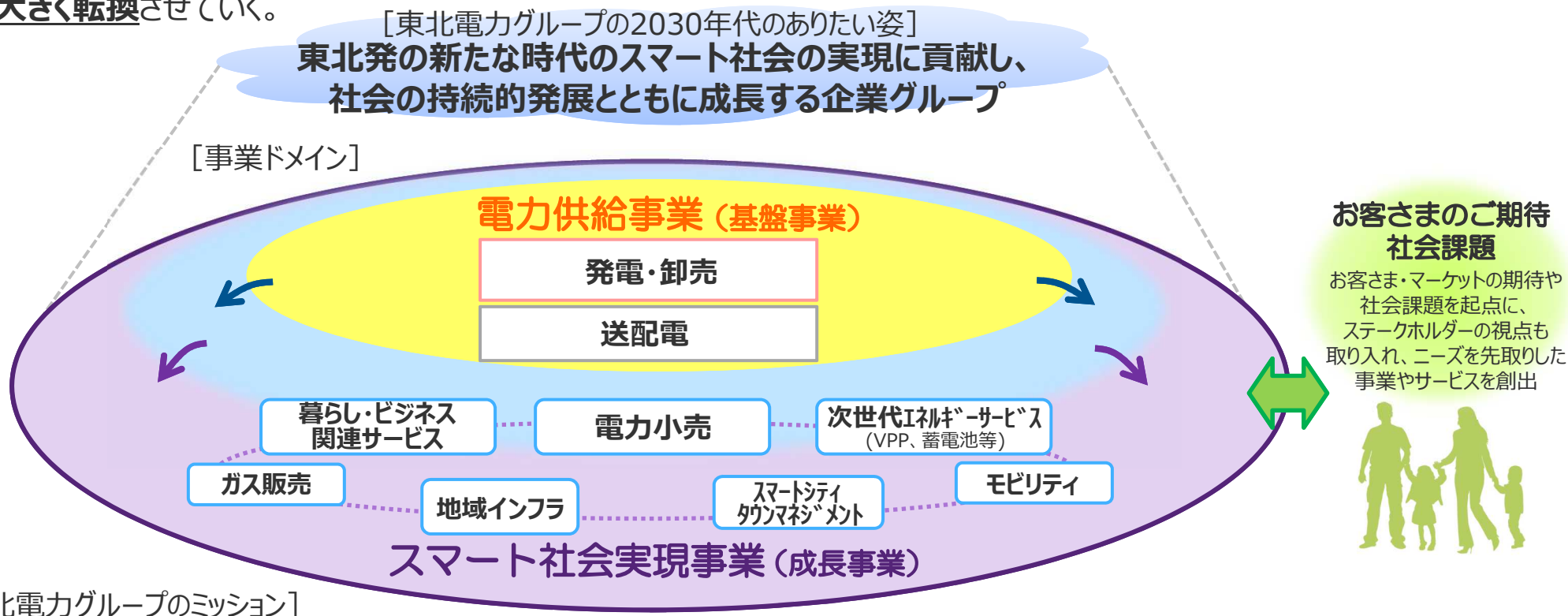


#### ステークホルダーの皆さまからのご信頼

お客さまや地域の方々をはじめとするステークホルダーの皆さまからのご信頼は事業の基盤  
今後も“よりそう”行動を通じてご信頼いただけるように努め、「東北電力グループブランド」として育み続けていくもの

## 4. 2030年代のありたい姿

- 社会や電力需給構造の大転換期を乗り越えるため、当社グループは、2030年代に「**東北発の新たな時代のスマート社会の実現に貢献し、社会の持続的発展とともに成長する企業グループ**」の実現を目指し、東北6県・新潟県を中心に電力供給を担い続けるとともに、スマート社会(Society5.0)の実現に向けた事業を通じて、社会の持続的発展と自らの成長を両立する。
- 基盤事業の「**電力供給事業**」の構造改革を通じた**徹底的な競争力強化**により安定的に収益を確保するとともに、成長事業の「**スマート社会実現事業**」に**挑戦し経営資源を戦略的に投入**していくことで、**自らのビジネスモデルを大きく転換**させていく。



[東北電力グループのミッション]

(これまで)

安全を大前提に、低廉で環境に配慮した電力を安定的にお届けし、東北6県・新潟県の発展に貢献する

シフト

(これから)

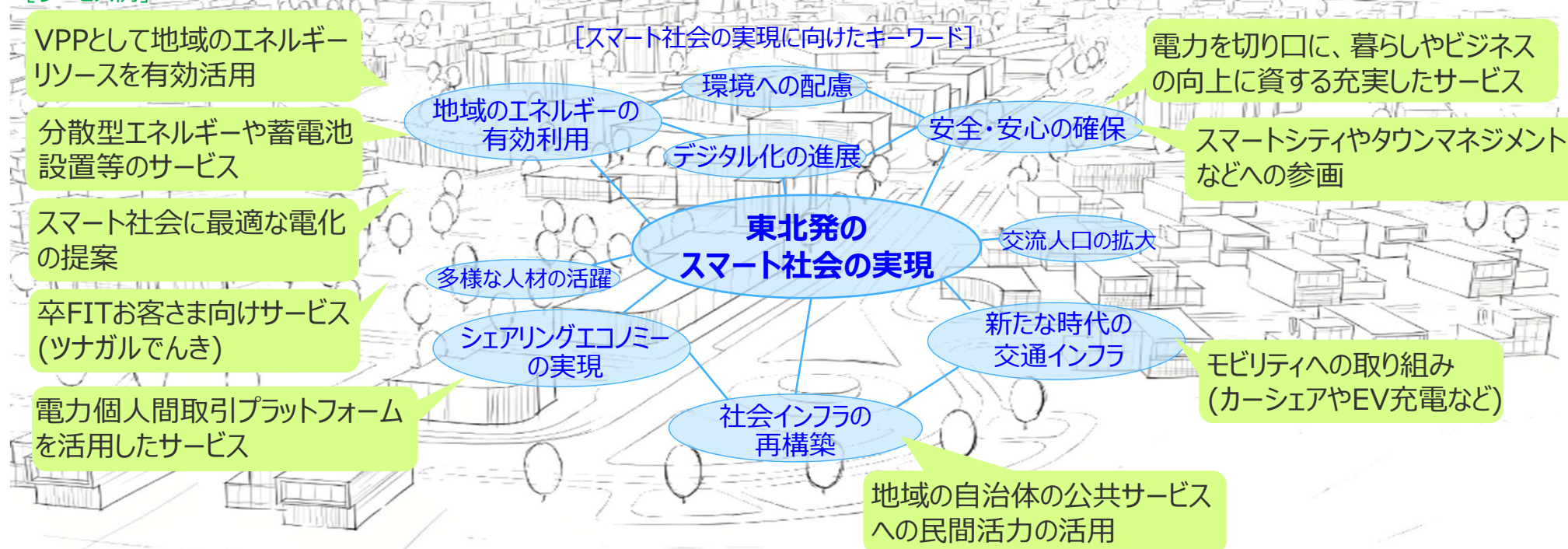
これまでのミッションに継続して取り組み、東北6県・新潟県のエネルギー(系統電力+分散型エネルギー)に関するリーダー企業であり続けるとともに、お客さまの豊かさの最大化や社会課題の解決に資する事業を展開し、東北からスマート社会の実現をリードする

## 5. ありたい姿の実現に向けた戦略 ～ 「スマート社会実現事業」

- 地域に住む方々がひとつひとつのサービスを意識することなく、快適・安全・安心な生活空間を手にできるスマート社会(Society5.0)の実現に資する新たな価値を提供する「スマート社会実現事業」を成長事業として位置づけ、お客さまの豊かさの最大化を目指して、ビジネスモデルの転換に挑戦していく。
- 具体的には、電力を切り口に、暮らし・ビジネス関連サービスや、VPP(バーチャル・パワー・プラント)、蓄電池等の次世代エネルギーサービス、さらには、モビリティ、インフラなど、複数の階層にわたるサービスを、トータルパッケージで提供していく。
- スマート社会実現事業の展開にあたっては、当社グループの強みを最大限活かすとともに、デジタルイノベーションの積極的な推進と、幅広いパートナーとの連携・協働により、お客さまへの新たな価値をともに創造していく。

当社グループの強み × デジタルイノベーション・多様なパートナーとの協働 = スマート社会実現に資する新たな価値を創造

[サービス例]





## 6. ありたい姿の実現に向けた戦略 ～ スマート社会を実現するための「電力供給事業」

- 基盤事業である電力供給事業は、電力取引の市場化や送配電部門の分社化等の環境変化の中でも、安定的に収益を確保し続けるために、「**発電・卸売**」「**送配電**」が、**各々の事業効率を最大限に高め、安全確保を大前提に、安定供給、経済性、環境性の同時達成を図りながら、お届けする電気の価値の最大化**を目指し、スマート社会(Society5.0)の実現にも貢献していく。
- 一方、「**電力小売**」については、東北6県・新潟県での顧客基盤等の強みを最大限活かしながら、**系統電力の小売に加えて、快適・安全・安心に資するサービスを提供するスマート社会実現事業へとビジネスモデルの転換を図り、お客さまの豊かさの最大化**を目指していく。

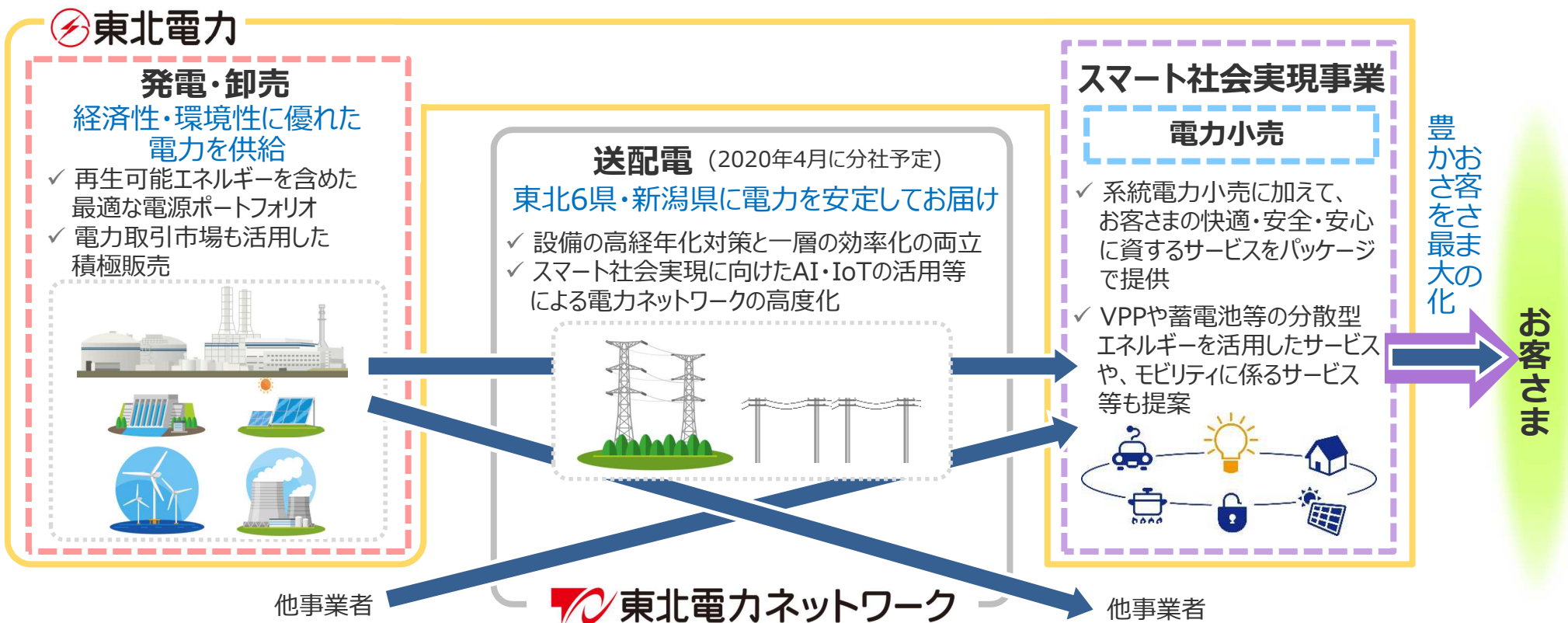
お届けする電気の価値の最大化

×

企業グループの連携による総合力発揮

=

電力供給事業の競争力の徹底強化



## 7. ビジネスモデル転換期の取り組み方針 ～「2020年度東北電力グループ中期計画」の力点

- 「東北電力グループ中長期ビジョン」で掲げた2030年代のありたい姿の実現に向け、**向こう5年間(2020～2024年度)**を「**ビジネスモデル転換期**」と位置づけ、3つの力点に基づき、事業展開を進めていく。

### 「2020年度東北電力グループ中期計画の力点」

3つのC(Change, Challenge, Create)を柱に、**電力供給事業の構造改革**と並行して**スマート社会実現事業の早期収益化**を進め、これまでの総括原価時代の思考や行動から脱却し、ビジネスモデルの転換につなげていく。

#### 力点1 “Change” 電力供給事業の抜本的変革による競争力の徹底強化

事業効率を最大限に高め、電気の価値を最大化するため、あらゆる分野で電力供給事業の構造改革を進める

[発電・卸売] 原子力の早期再稼働、上越1号機の開発推進、再生可能エネルギーの開発拡大

トレーディング機能を活用したサプライチェーン最適化、電力取引市場も活用した積極販売

[送配電] 安定供給、自律経営、さらなる効率化、スマート社会実現に向けた電力ネットワークの高度化

#### 力点2 “Challenge” スマート社会実現事業の早期収益化への挑戦

お客さまの豊かさを最大化するため、電力を切り口に、多様なサービスを提供する事業への転換に挑戦する

企業グループの連携により総合力を発揮しながらマーケティング機能の拡充等により電力小売の競争力を徹底強化

スマートライフ電化の提案、お客さまの快適・安全・安心に資するサービス提供、ガス販売の収益拡大

VPP等の次世代エネルギーサービスの事業化、モビリティや地域課題解決等の新規領域への挑戦

#### 力点3 “Create” 企業価値創造を支える経営基盤の進化

企業価値を最大化するため、ESGを重視し、経営資源を有効活用しながら、企業価値創出能力を強化する

環境経営の推進、安全最優先の企業文化の構築、レジリエンスの強化

働き方改革の加速、ダイバーシティの推進、企業グループ全社員による「より、そう、ちから。」の体現

事業創出機能の強化、成長事業への経営資源シフト、コーポレート・ガバナンスの強化、コンプライアンスの推進

※ 本項(p9～17)の内容については、環境変化等に応じて柔軟に見直す予定

# 力点1 “Change” 電力供給事業の抜本的変革による競争力の徹底強化

## 発電・卸売

再生可能エネルギーを含めた経済性・環境性に優れた最適な電源ポートフォリオと、電力取引市場も活用した積極販売により、お届けする電気の価値の最大化を目指す。

### 原子力発電

- ✓ 安全確保を大前提に、地域のご理解を得ながら、**女川原子力発電所2号機・東通原子力発電所1号機の早期再稼働**を目指す。
- ✓ **女川原子力発電所3号機についても**、諸課題に適切に対応しながら、**早期再稼働**を目指す。
- ✓ 女川原子力発電所1号機の廃止措置については、安全を最優先に、着実に取り組む。

### 火力発電

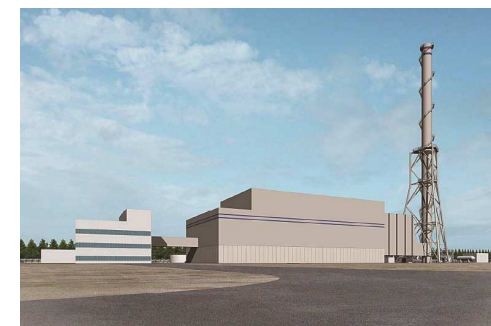
- ✓ **世界最高水準の熱効率を目指す上越火力発電所1号機の着実な開発推進**とともに、環境性や経済効率性の低い**経年火力発電所の休廃止**を検討・実施し、さらなる電源の競争力の強化や、再生可能エネルギー導入拡大に伴う需給変動への対応を進める。
- ✓ ドローンやAI技術を活用した設備パトロールの自動化など、**発電所の運用高度化・効率化**を加速するとともに、他産業への展開も目指す。

### 燃料調達

- ✓ 燃料調達における市場の構造変化を捉えた調達手法の多様化など、**燃料費低減や燃料調達の柔軟性確保に向けた取り組みを深掘り**する。
- ✓ 市場での**トレーディング機能を最大限活用**しながら、**燃料調達・電源調達から発電、販売のサプライチェーンを最適化**する取り組みを進める。



安全対策工事の進む女川原子力発電所



世界最高水準の熱効率63%以上を目指す上越火力発電所1号機  
(2023年6月営業運転開始予定)



米国キャメロンLNGプロジェクトからのシェールガスを含む米国産天然ガスの調達  
(調達船「Diamond Gas Sakura」)

# 力点1 “Change” 電力供給事業の抜本的変革による競争力の徹底強化

## 発電・卸売

### 再生可能エネルギー

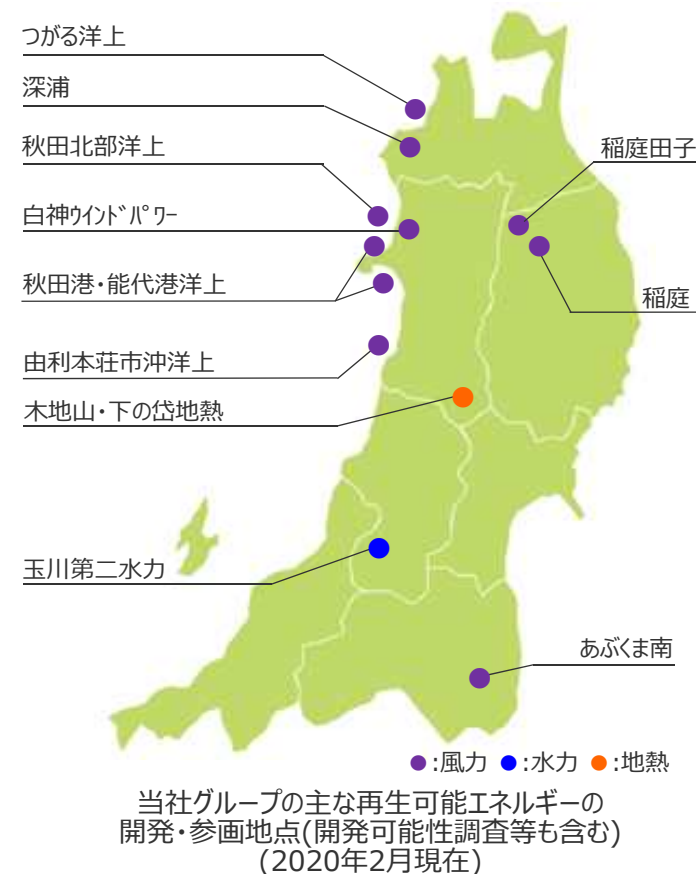
- ✓ 当社グループは、国内最大規模の地熱発電設備(設備容量は全国の約45%)や水力発電設備(227カ所)を有するなど※1、これまでも東北6県・新潟県に豊富に賦存する再生可能エネルギーの有効活用に取り組んできた。
- ✓ 今後、再生可能エネルギーを将来の当社の電源ポートフォリオの一翼を担う電源と位置づけ、東北6県・新潟県での再生可能エネルギーの責任ある事業主体となるべく、風力発電を主軸に、水力発電、太陽光発電、地熱発電、バイオマス発電を含めて、これまで当社グループが培ってきたノウハウを活用しながら新たな開発や事業参画に取り組み、**東北6県・新潟県を中心として、200万kWの開発**を目指し、経営資源を優先的に投入する。
- ✓ 再生可能エネルギーのライフサイクル全般に関与し**運用・保守事業(O&M※2)**や**電源リプレイス事業**などの展開についても検討を進める。

※1 2020年2月現在

※2 O&M(Operation & Maintenance)：発電設備の運用管理や保守点検業務のこと

### 海外事業

- ✓ 当社が出資参画しているインドネシア「ランタウ・デダップ地熱発電事業」や、ベトナム「ギソン2石炭火力発電事業」について、営業運転開始、安定稼働に向けて着実に取り組む。
- ✓ これまでの海外発電事業で培ったノウハウや人的ネットワーク等は、再生可能エネルギーの開発・参画や、スマート社会実現事業に最大限活用していく。



2020年後半の営業運転開始を目指し建設工事の進むランタウ・デダップ地熱発電事業

# 力点1 “Change” 電力供給事業の抜本的変革による競争力の徹底強化

## 発電・卸売

### 電力卸売

- ✓ 新たな電力取引市場の創設など、電力の市場化が進む中で、発電した電気の価値を最大化し、収益拡大を図るため、株式会社シナジアパワーや株式会社東急パワーサプライへの卸売、市場取引などを積極的に進める。
- ✓ 市場でのトレーディング機能を最大限活用しながら、電力卸売の付加価値向上に資するサービスを検討・推進する。

## 送配電

### 東北電力ネットワーク

送配電事業は2020年4月に「東北電力ネットワーク株式会社」に分社します

### 安定供給

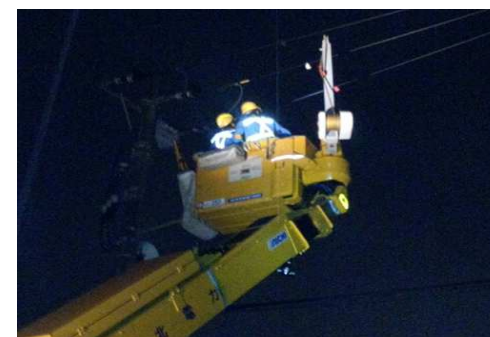
- ✓ 東北6県・新潟県の電力の安定供給の使命を果たし続けるため、自然災害への対応力向上など、レジリエンス強化に取り組む。

### 自律経営・さらなる効率化

- ✓ 東北電力ネットワーク株式会社として、法令やガイドラインに基づき、中立性・公平性を確保した事業運営を行う。
- ✓ 送配電設備の高経年化対策と、AI・IoT等の活用や設備の仕様統一・共同調達等による徹底的なコスト低減を両立する。

### スマート社会の実現に向けた電力ネットワークの高度化

- ✓ 再生可能エネルギーの導入や分散型エネルギーの普及が進む中で、効率的な設備形成のあり方や需給変化に適応した系統運用等を検討するとともに、スマート社会の実現に向けた電力ネットワークの高度化に取り組む。
- ✓ 送配電設備やスマートメーターデータの活用による新規事業を検討・展開する。



台風15号に伴う停電の復旧応援  
(2019年9月)



変電所の運転・保守業務の品質向上や効率化に向けた「スマートグラスシステム」の運用

## 力点2 “Challenge” スマート社会実現事業の早期収益化への挑戦

### スマート社会実現事業

企業グループの連携により総合力を発揮しながらマーケティング機能の拡充により電力小売の競争力を徹底強化するとともに、お客さまの豊かさの最大化や社会課題の解決に資する多様なサービスや取り組みを展開し、新たな価値の早期創出とビジネスモデルの転換に挑戦する。

#### お客さまの快適・安全・安心に資するサービス提供

- ✓ 販売部門のミッションを、「電力小売を切り口に、快適・安全・安心に資するサービスを提供し、お客さまの豊かさの最大化にお役立ちする」とし、お客さまのライフステージやビジネスニーズに着目したサービスを拡充し、エネルギーとサービスをトータルパッケージで提供することで、お客さまの満足度向上と収益力強化の両立を目指す。
- ✓ 家庭用分野は、「より、そう、ちから。<sup>プラスワン</sup>+ONE」のブランドのもと、スマートライフ電化の提案に加えて、AI・IoT・ビッグデータ等を活用したサービス開発を推進することで、暮らしをサポートするサービス充実を加速する。
- ✓ 法人分野は、当社独自のエネルギーマネジメントシステム「エグゼムズ(exEMS)」の提供等のエネルギーソリューションの充実に加え、お客さまの設備に踏み込んだサービスを展開する。
- ✓ 機動的なサービスの立ち上げを可能とする体制を構築するとともに、サービスの拡充に向けて幅広いパートナーとの連携・協働を積極的に進める。

#### ガス販売

- ✓ 東北6県・新潟県の都市ガス事業者との連携により、電力・ガスのセット提案やトータルエネルギーソリューションの提供等を進めることで、ガス販売の収益を拡大する。

より、そう、ちから。

東北電力のくらしの  
トータルサービス +ONE

#### くらしサポート マカブ コンシェルジュ

- 子どもの居場所確認サービス  
「よりそうこっち」
- 地域のイベント&お得情報  
「おでcafe」
- お客さまの電化導入サポート  
「ここ電化」
- コミュニケーションロボット  
「BOCCO」を通じた  
生活アシストサービス



ご家庭向けの暮らしサポートサービス  
「マカブコンシェルジュ」



新仙台火力発電所のLNG出荷設備

## カ点2 “Challenge” スマート社会実現事業の早期収益化への挑戦

### スマート社会実現事業

#### VPPの事業化

- ✓ 地域の課題解決やお客さまの利便性向上を図る観点から、太陽光発電設備や蓄電池、EVなど、地域に存在するエネルギーリソースを最大限活用し、地域の防災力強化や、お客さまの省エネルギー、省コストに役立つVPPサービスの早期事業化を目指す。

#### 分散型エネルギー関連サービスの展開

- ✓ 地域における再エネ導入の促進や、お客さまの省エネルギー・省コスト実現の観点から、お客さまへの分散型エネルギーや蓄電池設置等のサービスの早期事業化を目指す。
- ✓ 固定価格買取制度(FIT)買取期間が満了する家庭用太陽光発電設備をお持ちのお客さま向けサービスを展開し、ご家庭での上手な電気の利用や地域全体でのエネルギーの活用につなげる。

#### モビリティへの取り組み

- ✓ V2G(Vehicle to Grid<sup>※</sup>)実証に加え、EVの充電インフラやカーシェアリングなど、地域の課題解決に資するモビリティサービスを検討・展開する。

※電気自動車の蓄電池を活用し、蓄電池を電力系統に接続して充放電する技術

#### スマートシティやタウンマネジメントへの参画

- ✓ 分散型エネルギーやVPP等の技術を活かしながら、地域のスマートシティやタウンマネジメント等に参画し、経済的で環境にやさしく、災害に強いまちづくりに貢献する。

#### 地域課題解決に資するサービス

- ✓ 地域の自治体の公共サービス等について、地域課題の解決に貢献すべく、東北電力グループならではの価値提供を検討する。



世界最大規模のVPP事業者「Next Kraftwerke社(ドイツ)」との戦略的な連携

### ツナガルでんき

お客さまのつくる電気とツナガル

- ✓ シンプル買取

電気を無駄なく活かして未来の暮らしにツナガル

- ✓ エコキュートリース
- ✓ 蓄電池リース
- ✓ でんきお預かり

電気を通じて地域社会がもっとツナガル

- ✓ 家庭向けVPPプロジェクト

卒FITお客さま向けサービス「ツナガルでんき」サービスラインナップ



日産自動車株式会社、三井物産株式会社、三菱地所株式会社との連携による「V2G実証」

## 力点3 “Create” 企業価値創造を支える経営基盤の進化

環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)を重視しながら、経営基盤の進化を進める。

### 環境 (Environment)

#### 環境経営の推進

- ✓ 「東北電力グループ環境方針」のもと、企業グループが一体となったマネジメントにより、環境に係る取り組みを通じた企業価値向上や環境保全活動などを着実に推進する。

#### 気候変動緩和・適応への取り組み

- ✓ 電気事業低炭素社会協議会の一員として、電気事業全体で2030年度にCO2排出係数0.37kg-CO2/kWh程度を目指すことなどを盛り込んだ低炭素社会実行計画に基づき、電源の低炭素化等を通じた気候変動緩和に取り組むとともに、長期的視点で気候変動適応の取り組みも進める。

#### 環境情報開示の充実

- ✓ 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)最終報告書なども踏まえて環境情報開示を充実させるとともに、ステークホルダーとのコミュニケーションの強化を通じて、持続可能な企業価値創造と当社への信頼獲得につなげる。

### 社会 (Social)

#### 安全最優先の企業文化の構築

- ✓ 「東北電力グループ安全・保安方針」を日々の行動に定着させ、企業グループが一体となって、安全最優先の企業文化を構築する。

#### レジリエンスの強化

- ✓ 自然災害やサイバーセキュリティなど、リスクが多様化する中で、危機の未然防止とともに、万一危機が発生した場合の被害を最小限に食い止めるため、日頃の訓練等を通じて対応力を高め、レジリエンスを強化する。



自然災害の対応力強化に向けた  
自衛隊と連携した訓練



## 力点3 “Create” 企業価値創造を支える経営基盤の進化

### 社会 (Social)

#### 地域の方々との協働による社会課題解決

- ✓ 「まちづくり元気塾」や「東北・新潟の活性化応援プログラム」等をベースに、地域の方々とともに社会課題解決や地域活性化に取り組み、スマート社会の実現につなげる。

#### 「みな、おす、ちから。」働き方改革の加速

- ✓ 多様なワークスタイル、ICT環境整備、デジタルイノベーションの推進、業務の断捨離・社内ルールの見直し等により、働き方改革を加速し、生産性向上とワーク・ライフ・バランスの実現を両立する。

#### ダイバーシティの推進

- ✓ 多様化するお客さまニーズへの対応力を強化し、会社が成長を続けていくため、性別、年齢、職責、障がいの有無によらず、多様な人材が能力を最大限発揮できる職場づくりを進める。

#### 健康経営

- ✓ 「健康推進基本方針」を策定し、従業員一人ひとりの「こころ」と「からだ」両面にわたる健康づくりの推進に向けて取り組み、従業員の活力向上等により組織を活性化する。

### ガバナンス (Governance)

#### 企業グループ全社員による「より、そう、ちから。」の体現

- ✓ ありたい姿の実現の基盤として、企業グループ全社員が、グループスローガン「より、そう、ちから。」に込められた思いを理解し、お客さま・地域に“よりそう”行動を日々実践する。



地域の課題解決に取り組む団体へのサポート  
「まちづくり元気塾」



「在宅勤務制度の拡充」など  
多様なワークスタイルを推進



管理職を対象とした  
「ダイバーシティ・マネジメント研修」

## 力点3 “Create” 企業価値創造を支える経営基盤の進化

### ガバナンス（Governance）

#### スマート社会実現に向けた事業創出機能の強化

- ✓ 2020年7月のコーポレート組織の再編にあわせ、「東北電力グループ中長期ビジョン」の早期実現に向けた、事業創出部門を設置・強化する。
- ✓ 機動的な事業推進等の観点から、東北電力本体から別会社化なども想定し検討を進める。

#### グループ経営のさらなる推進

- ✓ 東北電力とグループ企業のより強固な関係を再構築し、グループ全体の総合力発揮・競争力強化を進める。

#### 成長事業への経営資源シフト

- ✓ ビジネスモデル転換を成し遂げるため、成長事業へ戦略的に経営資源を投入する。

#### 変革に挑戦する人材の確保・育成

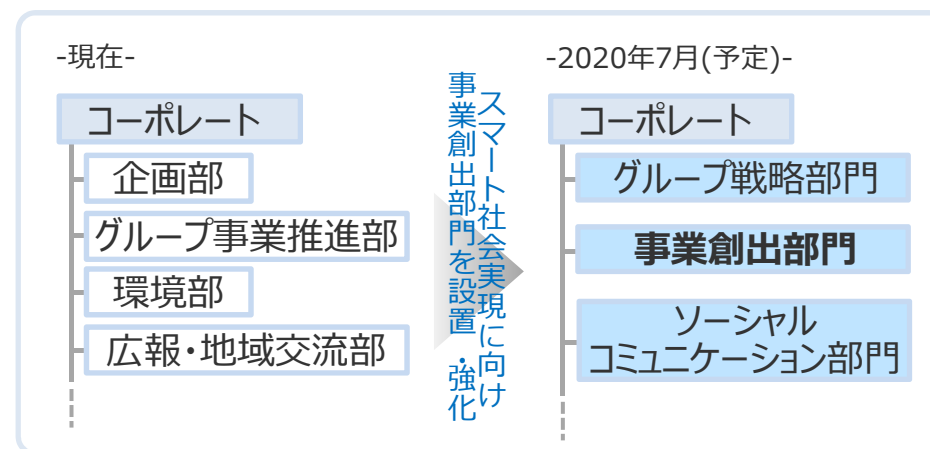
- ✓ 電力供給事業の構造改革やスマート社会実現事業の事業化に向けて、果敢に挑戦する人材を確保するため、採用の多様化等を進めるとともに、変革を進めるリーダーを育成するための教育を充実する。

#### コーポレート・ガバナンスの強化

- ✓ 持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向け、経営の機動性、健全性、透明性等を高めるためのコーポレート・ガバナンスの強化に継続して取り組む。

#### コンプライアンスの推進

- ✓ 「気づく・話す・直す」の基本姿勢のもと、「東北電力グループ企業倫理・法令遵守活動方針」に基づき、企業グループ各社が「企業倫理・法令遵守活動計画」を策定、自律的活動を展開し、企業グループ全体でコンプライアンスの実効性を高める。

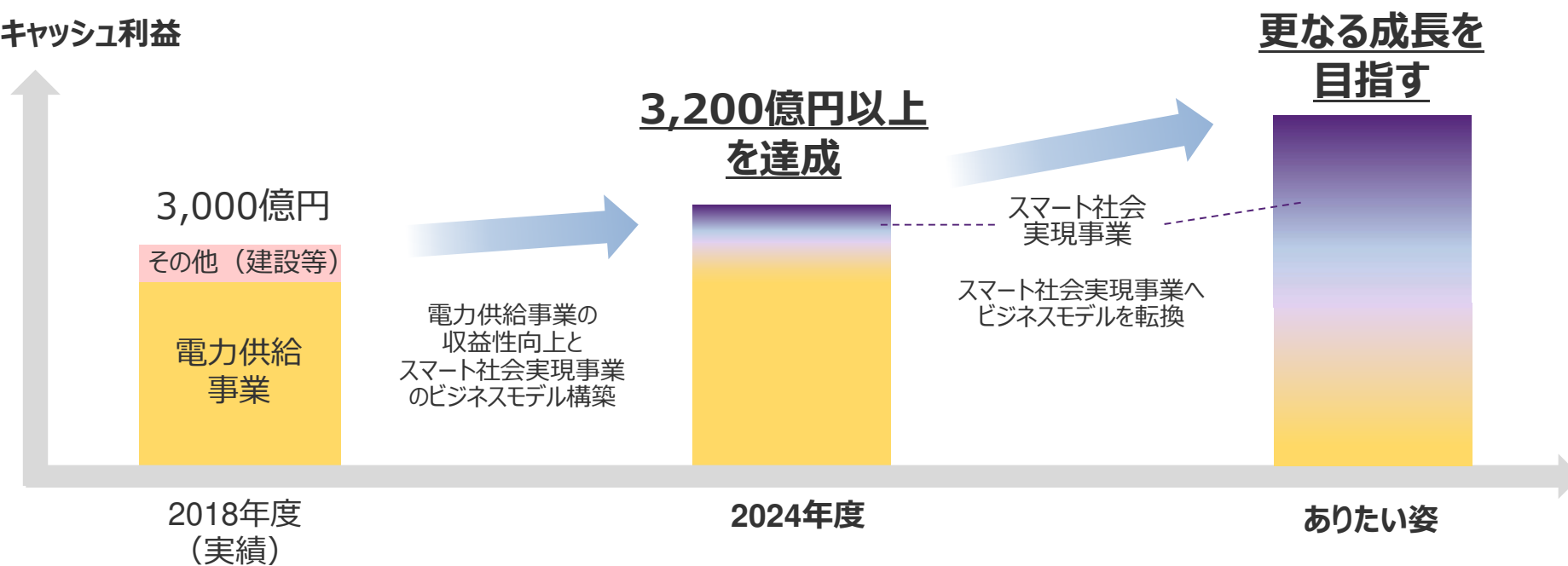


コーポレート組織の再編の概要

## 8. 定量的に目指す姿（財務目標）

- これまで震災で傷ついた財務体質の回復を最優先に、自己資本比率(連結)の目標達成に向け取り組み、一定の成果を上げてきた。
- 今後、当社グループは、基盤事業の「電力供給事業」の構造改革を通じた徹底的な競争力強化により安定的に収益を確保するとともに、成長事業の「スマート社会実現事業」に挑戦し経営資源を戦略的に投入していくことで、自らのビジネスモデルを大きく転換させていく。
- ビジネスモデルの転換を成し遂げるために必要となるキャッシュ創出力の向上に向けて、財務目標として連結キャッシュ利益(算定方法:営業利益+減価償却費+核燃料減損+持分法投資損益)を設定する。**連結キャッシュ利益は、2024年度に、目標の3,200億円以上を達成し、長期的に持続可能なキャッシュ創出力の基盤を構築**するとともに、将来的にはさらなる成長を目指していく。加えて、多様なステークホルダー等への着実な還元も行っていく。

### 連結キャッシュ利益



## 9. ESG経営の推進

- 当社グループは、「東北電力グループCSR方針」・「東北電力グループ行動指針」を基盤に、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)を重視しながら、「東北電力グループ中長期ビジョン」に沿った取り組みを進めることで、東北発の新たな時代のスマート社会を実現し、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献する。



## 10. 東北電力グループ経営理念、東北電力グループスローガン

- 2030年代のありたい姿に向けた、当社グループの存在意義は、「エネルギーサービスをベースに社会課題解決に資する事業を東北内外で展開することで、創出される価値をすべてのステークホルダーに還元し、社会に不可欠な存在であり続けること」。この思いを東北電力グループ経営理念の「地域社会との共栄」に込め、お客さまと地域に“よりそう”視点から主体的な挑戦・変革を進めることで、豊かな社会と当社グループの持続的な成長を実現する。

### 東北電力グループ経営理念

#### 「地域社会との共栄」

私たちは、お客さまや地域によりそい、挑戦と変革をしつづけることで、東北電力グループだからできる価値を創造し、豊かな社会と自らの成長を実現します。

経営理念を従業員一人ひとりの日々の行動で体現していく基本姿勢を端的に表現した  
お客さまや地域社会とのお約束

### 東北電力グループスローガン

#### 「より、そう、ちから。」

東北電力グループだからお役に立てる、より沿う力。  
それは、お客さまひとりひとりを見つめ ライフスタイルに合った快適な暮らしを提案していくこと。

そして、これからも地域に、寄り添う力。  
それは、創立以来の変わらない想いを胸に 地域とともに発展しつづけること。

心からの感謝の気持ちと大きなこころざしを持って ひとりひとりへ、そして地域へ。  
私たちは、皆さまのお力となれるよう、取り組んでまいります。

# 11. 東北電力グループの総合力発揮

- 東北電力グループ63社が一丸となり、総合力を発揮しながら、2030年代のありたい姿の実現を目指す。

東北発の新たな時代のスマート社会の実現に貢献し、  
社会の持続的発展とともに成長する企業グループ

より、そう、ちから。



東北電力株式会社

東北電力ネットワーク株式会社

## 電力供給事業

<p>[発電]</p> <p>常磐共同火力株式会社 東北自然エネルギー株式会社 荒川水力電気株式会社 酒田共同火力発電株式会社 相馬共同火力発電株式会社</p> <p>株式会社アクアパワー東北 ソーラーパワー (久慈/鰐ヶ沢/白石/久慈枝成沢/ 石巻雄勝/宮城) 福島発電株式会社 ユアソーラー(富谷/保原/蔵王)</p>	<p>[電気事業関連設備の建設・保守]</p> <p>株式会社ユアテック 株式会社ユートス 株式会社ユアテックサービス 株式会社テクス福島 株式会社ユアテック宮城サービス 株式会社ユアテック配電テクノ 株式会社ユアテック関東サービス</p> <p>株式会社東北開発コンサルタント 株式会社ユアテック配電テクノ 株式会社ユアテック関東サービス</p>	<p>[トレーディング]</p> <p>東北電力エナジートレーディング株式会社</p> <p>[電気事業関連機器の製造]</p> <p>北日本電線株式会社 北日本電線サービス株式会社 会津碍子株式会社 東北ポール株式会社 東北ポール運送株式会社 通研電気工業株式会社 東北電機製造株式会社 東北計器工業株式会社</p>
<p>[海外事業]</p> <p>トーホク・パワー・インベストメント・カンパニー キューシュウ・トウホク・エンリッチメント・インベスティング ユアテック・ベトナム・カンパニー・リミテッド メリット・パワー・ホールディングス</p>	<p>[電力小売]</p> <p>株式会社シナジアパワー 株式会社東急パワーサプライ</p>	
<p>[情報通信]</p> <p>東北インテリジェント通信株式会社 東北インフォメーション・システムズ株式会社</p>	<p>[環境の保全・リサイクル]</p> <p>東北緑化環境保全株式会社 東北エコ・テクノ株式会社 能代吉野石膏株式会社 グリーンリサイクル株式会社</p>	
<p>[ガス・エネルギーソリューション]</p> <p>日本海エル・エヌ・ジー株式会社 東北天然ガス株式会社 東北エネルギーサービス株式会社</p>	<p>[生活・ビジネス支援]</p> <p>東日本興業株式会社 TDGビジネスサポート株式会社 株式会社エライフ・パートナーズ 株式会社ニューリース 株式会社エルタス東北 株式会社アクアクララ東北 株式会社トークス 東北電力フレンドリー・パートナーズ株式会社</p>	

## スマート社会実現事業

私たち東北電力グループは、  
これまで以上に、お客さま・地域社会に“よりそう”取り組みを通じて、  
東北発の新たな時代のスマート社会の実現を目指します。

## より、そう、ちから。

東北電力グループだからお役に立てる、より浴う力。

それは、お客さまひとりひとりを見つめ  
ライフスタイルに合った  
快適な暮らしを提案していくこと。

そして、これからも地域に、寄り添う力。

それは、創立以来の変わらない想いを胸に  
地域とともに発展しつづけること。

心からの感謝の気持ちと  
大きなこころざしを持って  
ひとりひとりへ、そして地域へ。

私たちは、皆さまのお力となれるよう、  
取り組んでまいります。





より、そう、ちから。

東北電力グループ